

難聴・補聴外来の流れ



難聴・補聴外来 初回（貸出日）

医師による診察を行います。

補聴器の適応があれば試聴開始です。

貸し出し用補聴器の選定と調整を行い、先ず1か月間試用して頂きます。
当院では実耳測定を行い、“一人ひとりの耳の形に合わせて”調整をしています。



店舗；調整 （1-2週間後）

店舗にて、補聴器販売店の担当者が日常生活での使用感、補聴器の扱い方などを確認します。

（適宜、補聴器の調整も行います）



難聴・補聴外来 調整（1-3ヵ月）

医師の診察、補聴器適合検査などを行い、補聴器の装用感を確認します。その上で、購入の意志確認を行います。

（音質や聴こえ方が合わない場合には、補聴器メーカーや機種を変更し再調整を行い、試聴継続して頂きます）



店舗；購入

店舗にて、補聴器の種類や色を選び購入して頂きます。



難聴・補聴外来 確認（購入後）

医師が診察し、補聴器の装用感を確認します。

（必要であれば、実耳測定や補聴器の調整を行います）。

聞こえに対する患者さんの自己評価、装用感に問題なければ以降は補聴器販売店でメンテナンスや調整を行います。

（定期的に聴力検査が必要な方は一般外来を受診して頂きます）

補聴器の購入に関しては、患者さんのご意思にお任せいたします。補聴器の種類によって、音の響き方や聴こえ方も変わります。試聴していく中で、補聴器販売店や補聴器機種の変更も可能ですので、ご希望がある場合は遠慮なくご相談ください。

